



OECD ティーチング・コンパス（教師の羅針盤）

簡単な概要(一部) のご紹介

Miho Taguma

Senior policy analyst, project manager of the OECD Future of Education and Skills 2040

Directorate for Education and Skills

17 July 2025

本日のティーチング・コンパスに関するプレゼン内容

- 1. E2040参加国によるTC議論の背景**
- 2. 簡単なTC全体像ー6つの主な概念整理**
- 3. 本日の焦点-2つ**
 - ◆ **アンカー（錨）**
 - ◆ **教師エージェンシー（個人・共同・集合）**

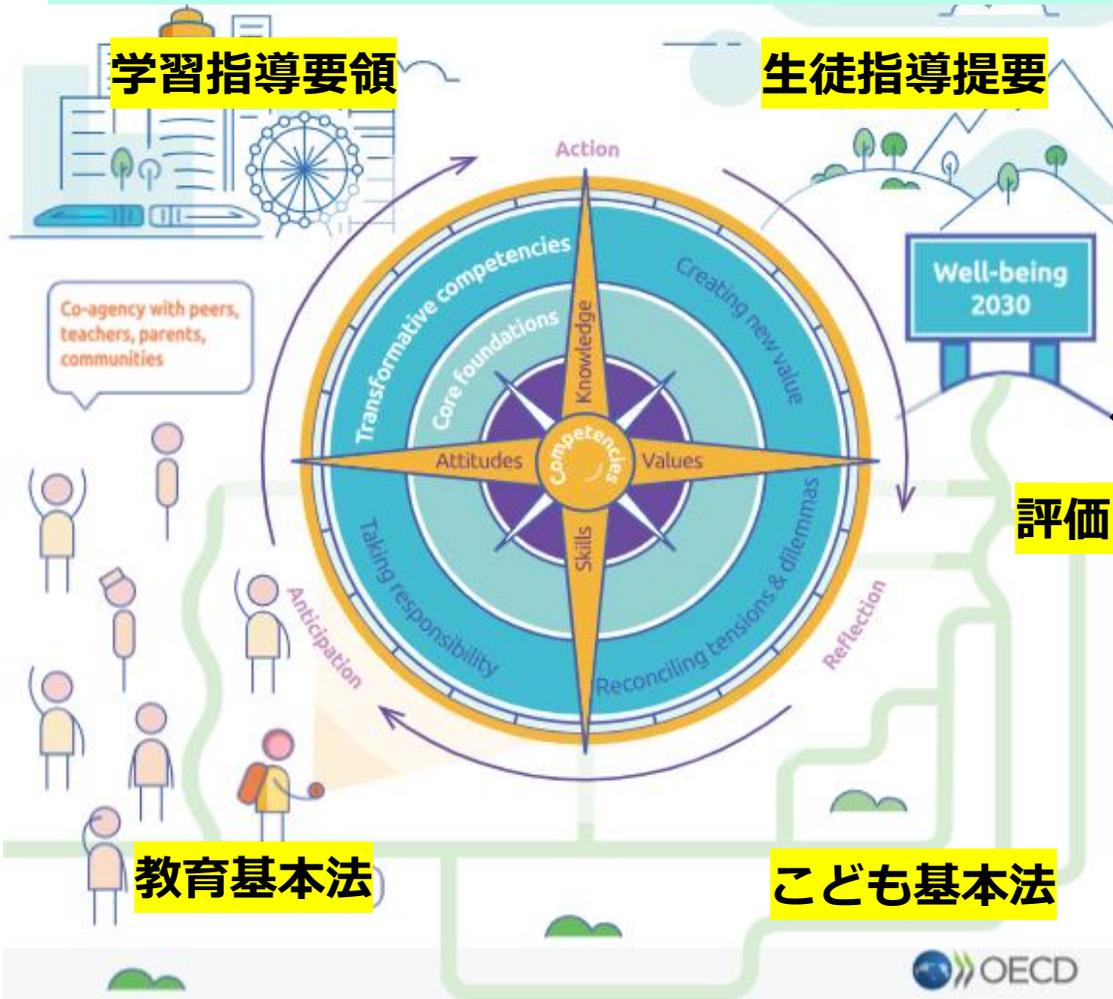
1. **E2040参加国によるTC議論の背景**
2. 簡単なTC全体像ー6つの主な概念整理
3. 本日の焦点-2つ
 - ◆ アンカー（錨）
 - ◆ 教師エージェンシー（個人・共同・集合）



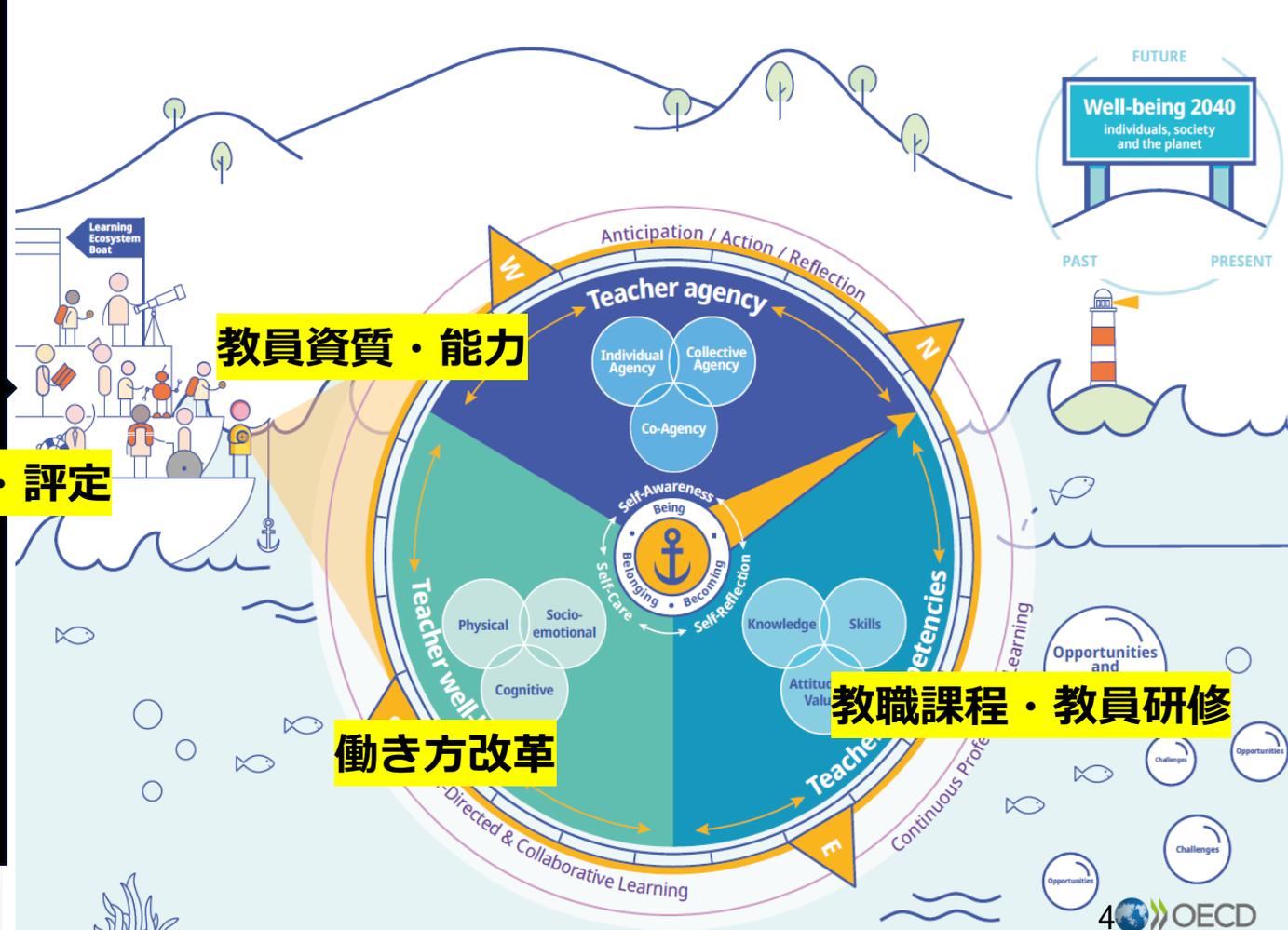
OECD諸国によるティーチングコンパス議論の背景：

- カリキュラムを「理念」から「現実」にする未来の教師像
- カリキュラム改定含め制度再設計—部分最適から全体最適へ

ラーニング・コンパス (2015-19) 改定中



ティーチング・コンパス(2025)



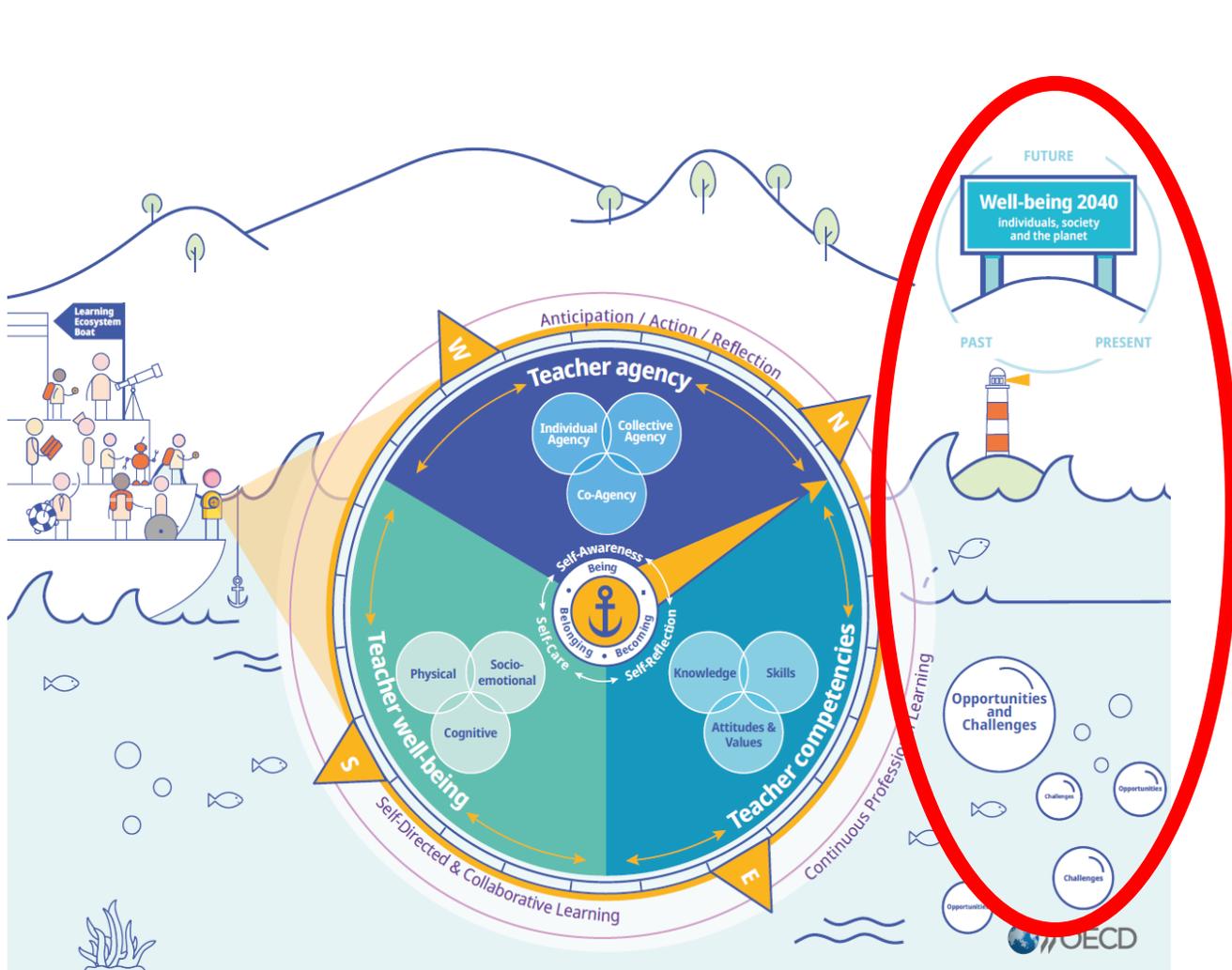
評価・評定

本日のティーチング・コンパスに関するプレゼン内容

1. E2040参加国によるTC議論の背景
2. **簡単なTC全体像ー6つの主な概念整理**
3. 本日の焦点
 - ◆ アンカー（錨）
 - ◆ 複雑化するCo-agency



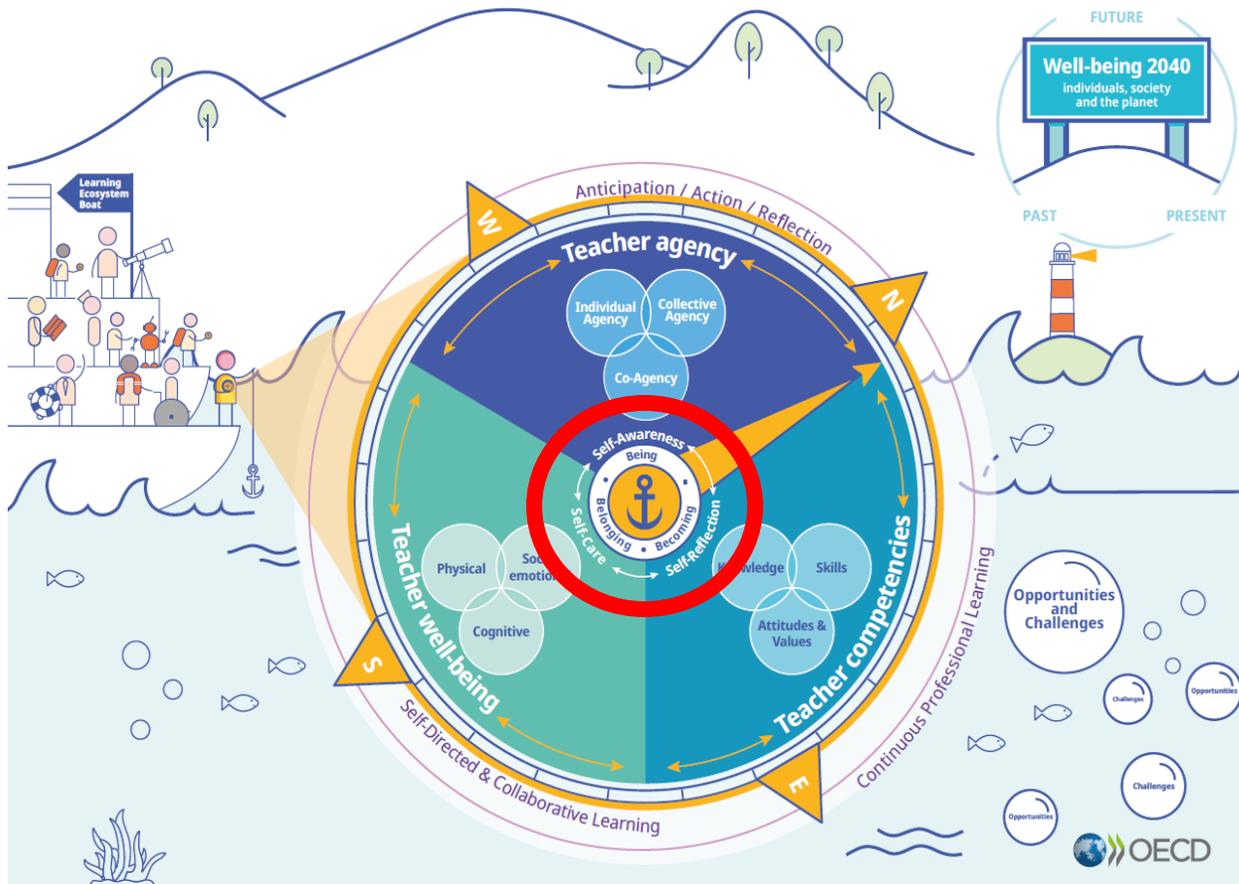
1 個人・社会・地球のウェルビーイングあふれる2040年に向けて 過去・現在・未来の捉え方、好機と課題のバランス



- **過去**から学び、**現在**に根差し（実態・実感）、**未来**に備える
- 二項対立・未結合・分断を超え、**システム思考**で



2. ぶれないコンパスのための<錨> 変化が激しい時代の羅針盤—自分軸を錨に

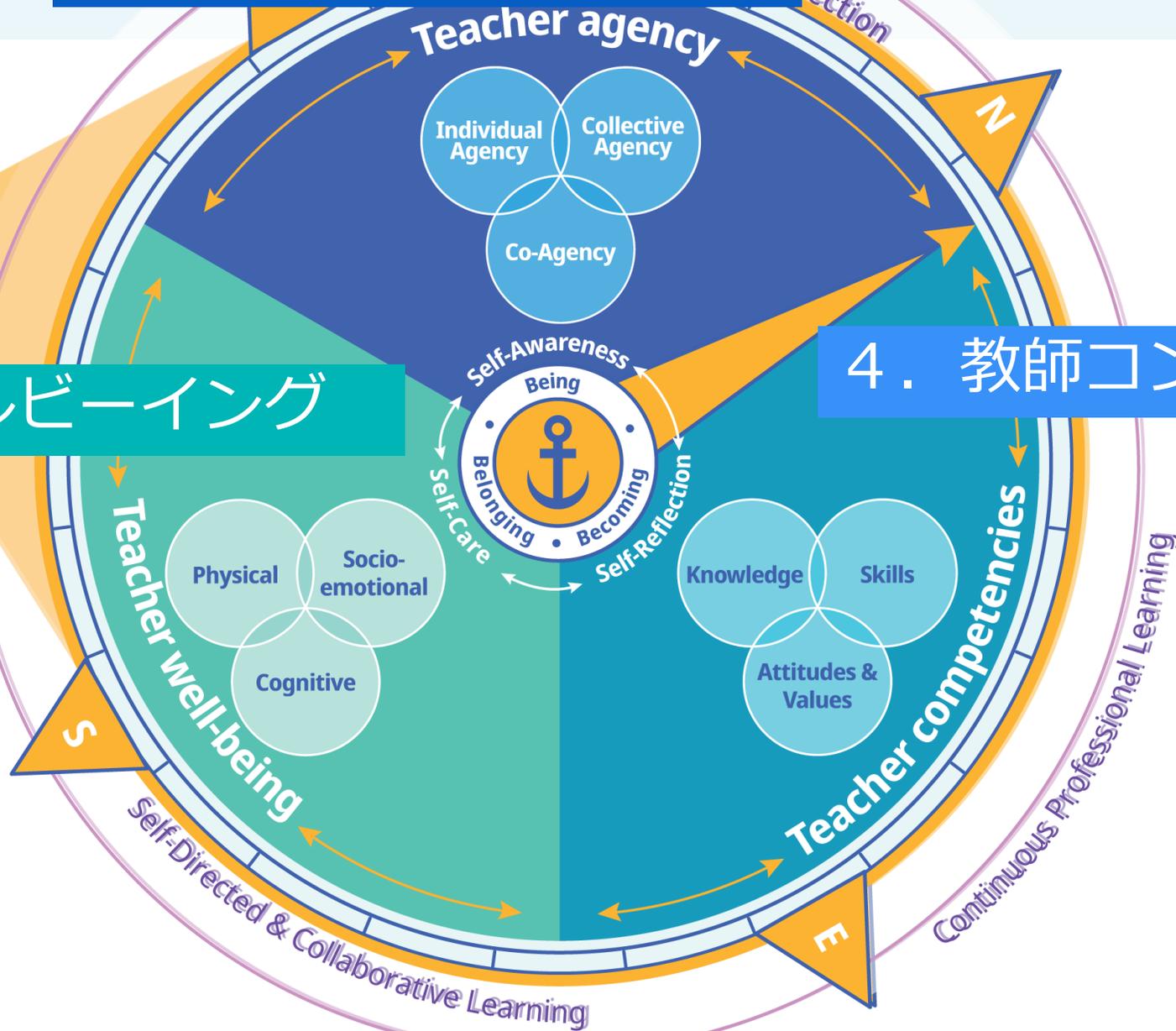




3. 教師エージェンシー

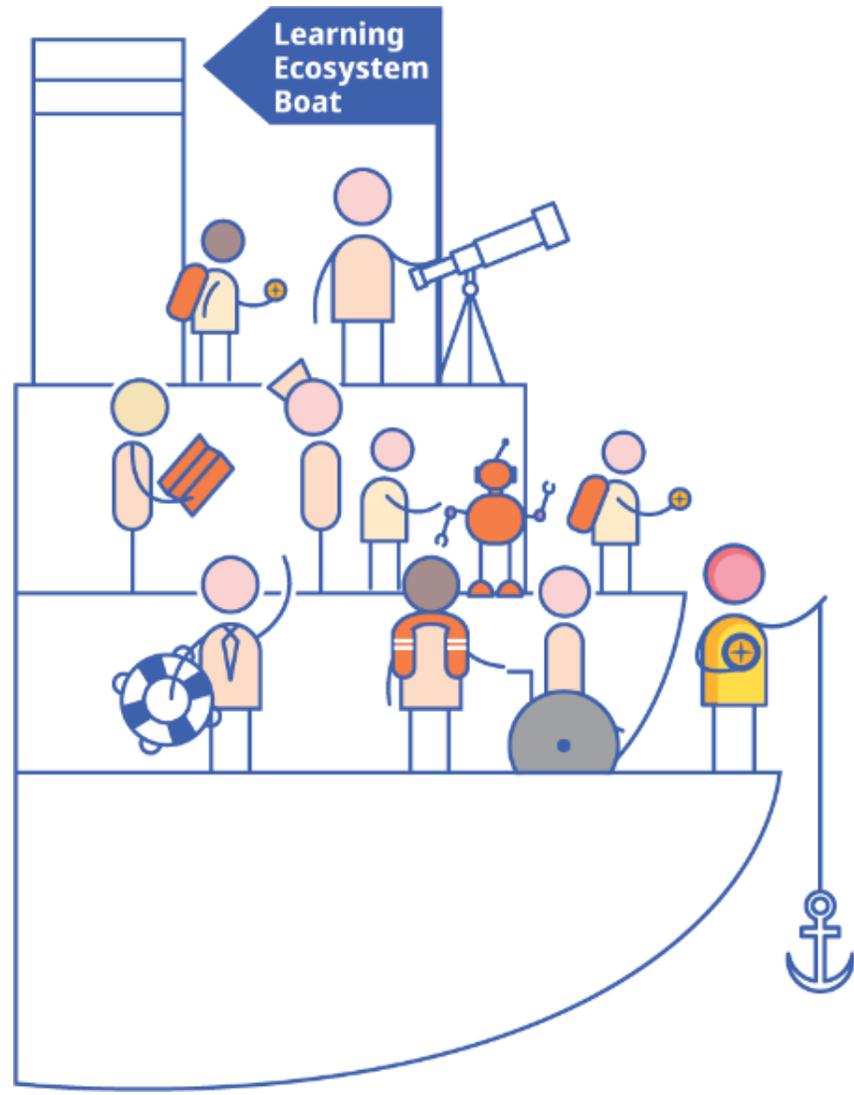
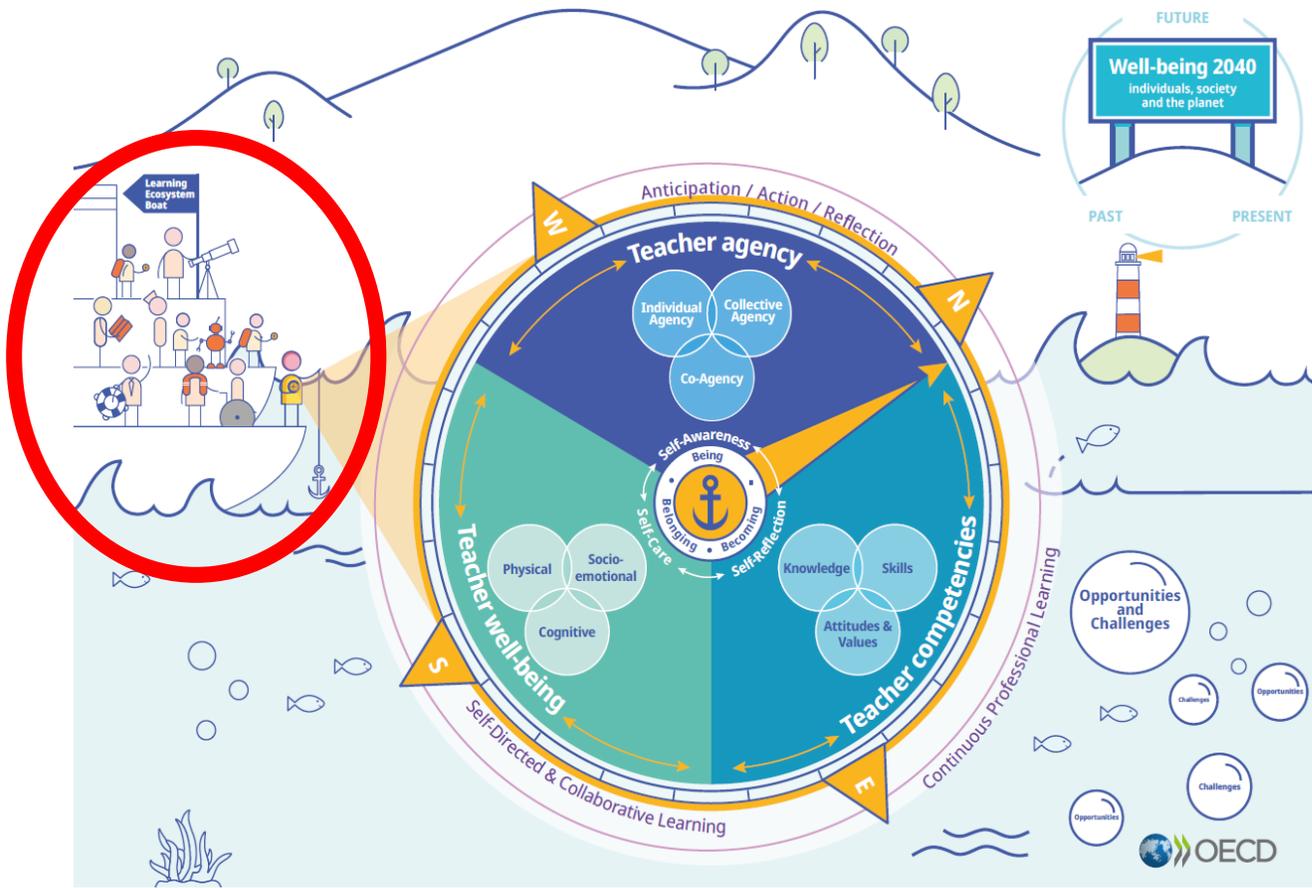
5. 教師のウェルビーイング

4. 教師コンピテンシー





6. 学びのエコシステム



本日のティーチング・コンパスに関するプレゼン内容

1. E2040参加国によるTC議論の背景
2. 簡単なTC全体像ー6つの主な概念整理
3. **本日の焦点-2つ**
 - ◆ **アンカー（錨）**
 - ◆ **教師エージェンシー（個人・共同・集合）**





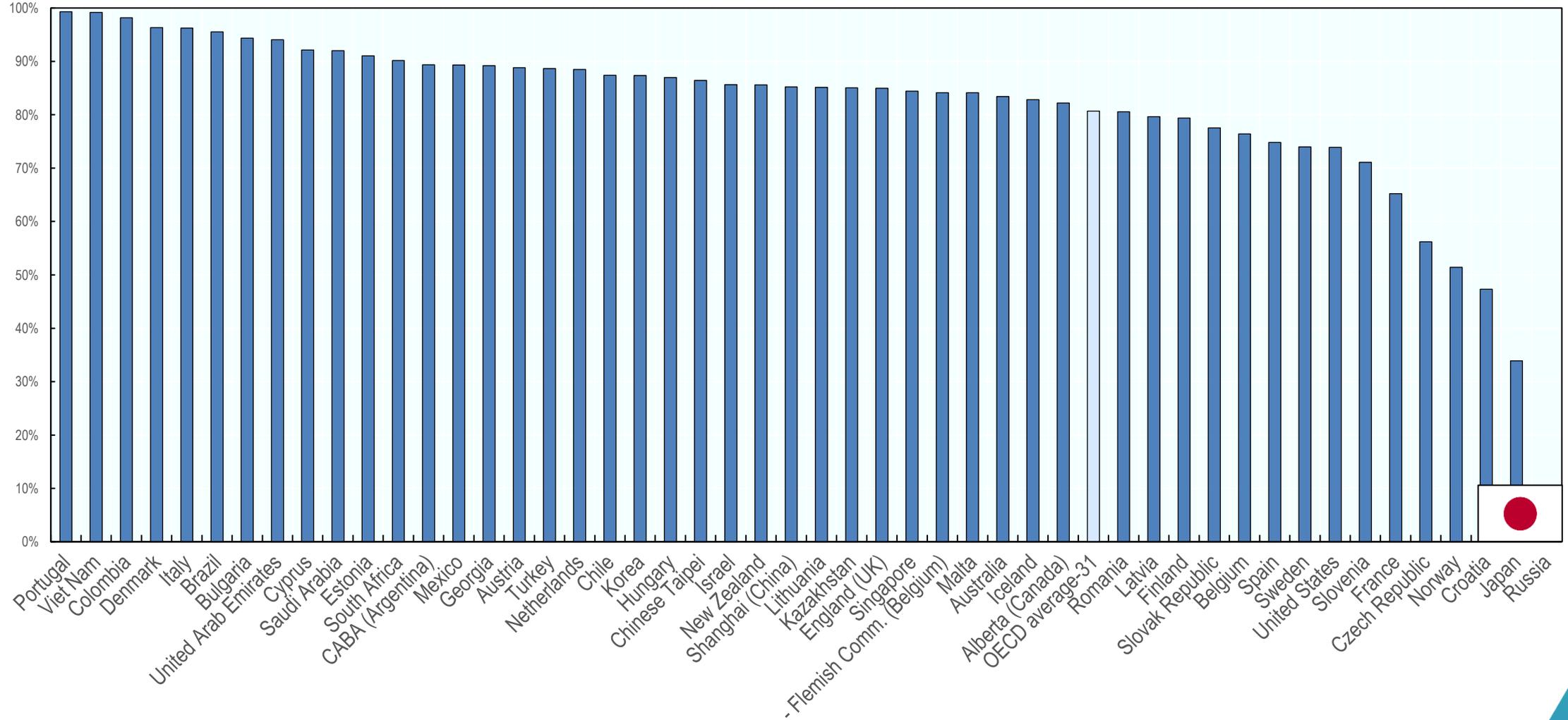
Being – authentic self 教師としてある姿・真正なる自己（自己に対する深い理解）

- **Professional identify, dignity, integrity**
専門職としてのアイデンティティ、尊厳、誠実さ）→教師の矜持
- **Sense of purpose**
目的意識
- **Sense-making/ Meaning-making**
“腑に落ちる”/意味付ける（自分自身の意味付け、生徒の鏡に）





Teachers' self-efficacy for helping students to value learning 生徒が学びに価値を見出すサポートすることに対する教師の自己効力感





Being – authentic self 教師としてある姿・真正なる自己（自己に対する深い理解）

- **Professional identify, dignity, integrity**
専門職としてのアイデンティティ、尊厳、誠実さ）→教師の矜持
- **Sense of purpose**
目的意識—なぜ、学ぶ・教えるのか？誰のための教育？
- **Sense-making/ Meaning-making**
“腑に落ちる”/意味付ける（自分自身の意味付け、生徒の鏡に）

Belonging – relationships in classroom & school community

教師の居場所（所属感）

- **Psychological safety**
心理的安心・安全性
- **Caring and empowering relationships**
思いやりと教師の力を引き出す関係性
- **Community connection and school ethos**
地域とのつながりと学校の教育理念（校風）



Becoming – professional growth and transformation

教師のアイデンティティ形成・専門性、深化・変化し続ける

- **Continuous professional learning**
継続的な専門職としての学び
- **Self-directed & collaborative learning**
主体的・協働的な学び
- **Anticipate-Action-Reflection competency development cycle**
予測・行動・振り返りサイクル



When the Compass doesn't Work: Risks of Losing the Anchor

コンパスが機能しないとき：アンカー（錨）を失うリスク

- **Spinning Needle** 針が回り続ける

集中を欠く、本質を見失う、目標が曖昧になる・形骸化する

- **Drifting Off the Intended Course** 意図した航路から逸れる

教師エンゲージメントの喪失、視野の狭まり（全人格教育vs測定可能な側面偏重）、説明責任が生む矛盾（アカウンタビリティ・パラドックス）

- **Magnetic Distortion** 磁気の歪み

無意識の偏見、外的な圧力、認知のゆがみ



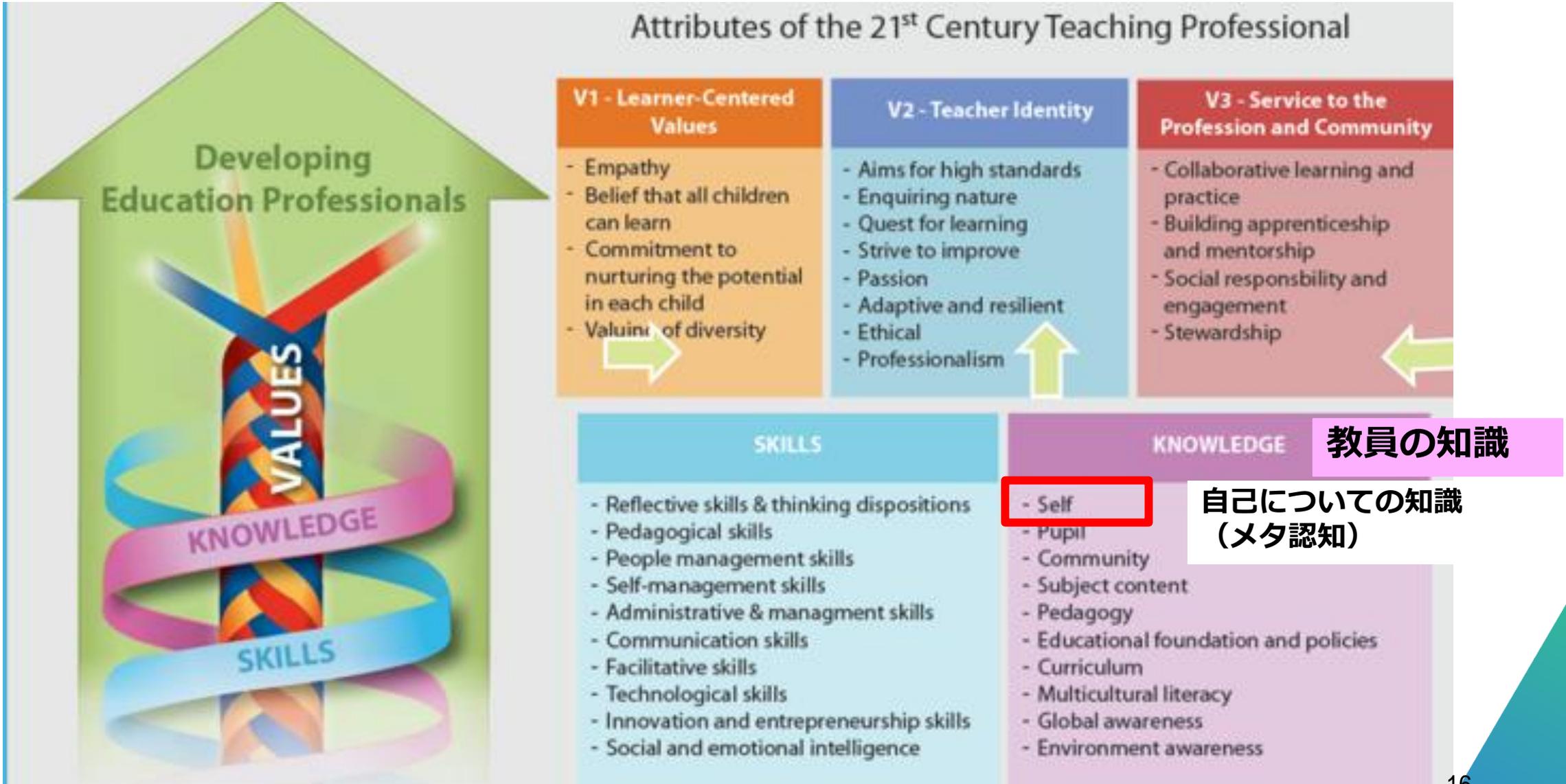
- **Self-awareness** 自己認識

- **Self-reflection** 自己内省

- **Self-care** セルフケア



シンガポールの例ー 21世紀教師像 (TGM: 教師成長モデル) 教師の資質・能力 (知識・スキル・価値観) 各領域について深掘り



本日のティーチング・コンパスに関するプレゼン内容

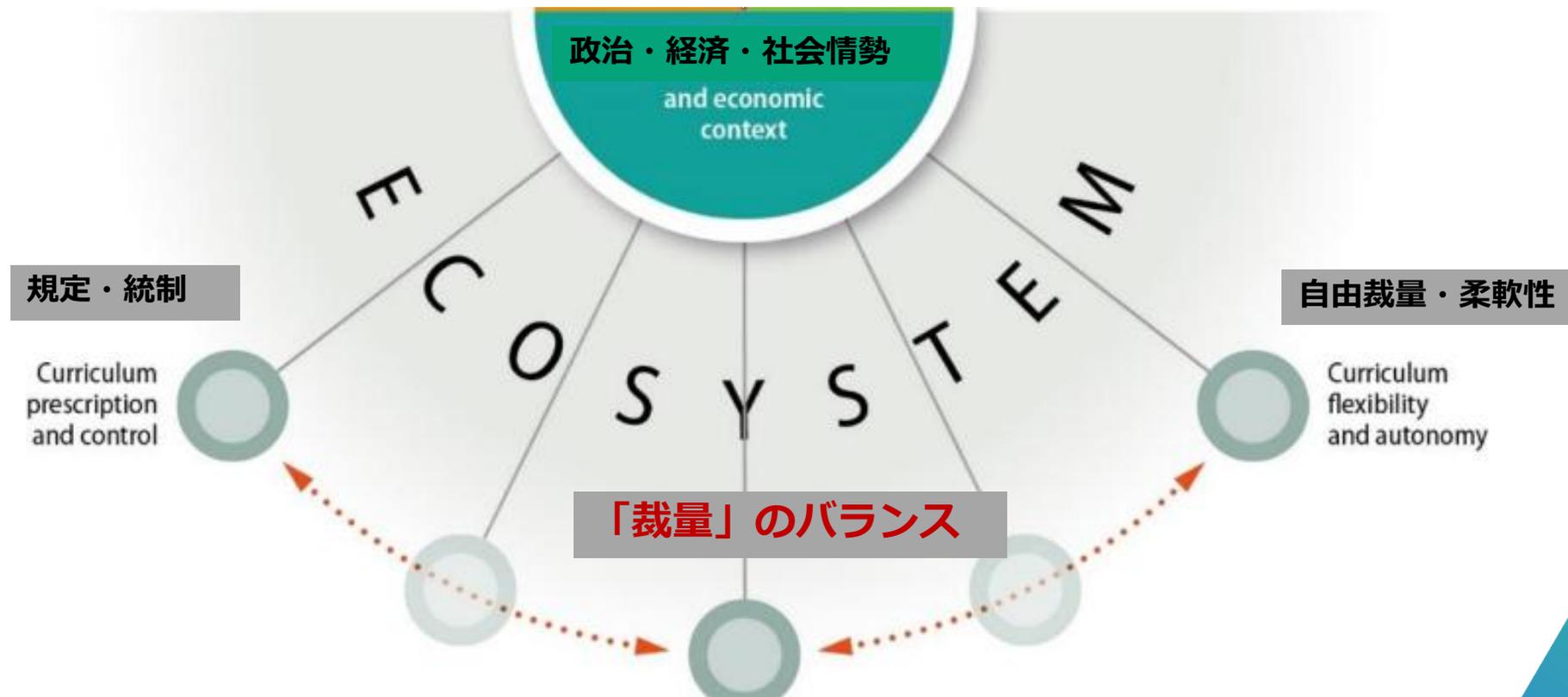
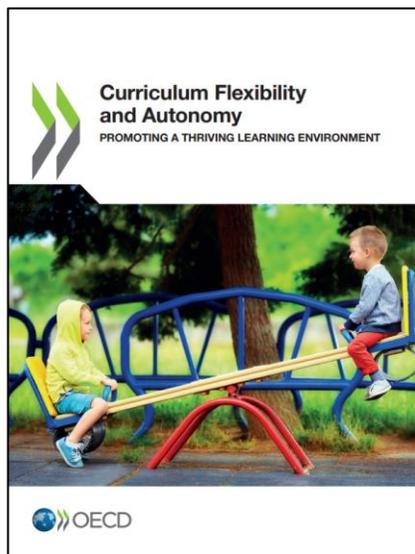
1. E2040参加国によるTC議論の背景
2. 簡単なTC全体像ー6つの主な概念整理
3. **本日の焦点-2つ**
 - ◆ アンカー（錨）
 - ◆ **教師エージェンシー（個人・共同・集合）**

▶ 本日のティーチング・コンパスに関するプレゼン内容

1. E2040参加国によるTC議論の背景
2. 簡単なTC全体像ー6つの主な概念整理
3. **本日の焦点-2つ**
 - ◆ アンカー（錨）
 - ◆ **教師エージェンシー（個人・共同・集合）**

教師エージェンシー(個人)

例「カリキュラムの自由裁量・柔軟性」を適切に活用できる教師のエージェンシー
(アジャイルに、その場その場の文脈で適切な判断が求められる) **裁量のバランス→振り子の歴史**



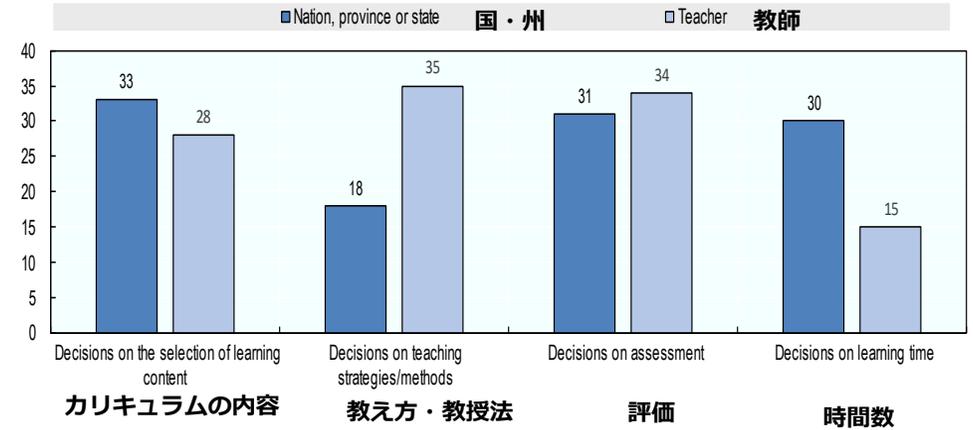


教師エージェントシー発揮する「自由裁量・柔軟性の範囲・程度・あり方」

範囲

- Curricular goals
- Content
- Pedagogies
- Assessment
- Instruction time

- カリキュラム（学校レベル）目標
- 内容
- 教え方
- 評価
- 時間数



程度

- 低
- 中
- 高

性質・あり方

- 選択する
- 適応・調整する
- 新たに加える
- 削除・削減する
- デザインする・共同デザインする



時間数について - 教師エージェントシー (マインドセットの転換を)

Learning time ≠ learning outcomes 時間数 ≠ 学力

Based on students' reports

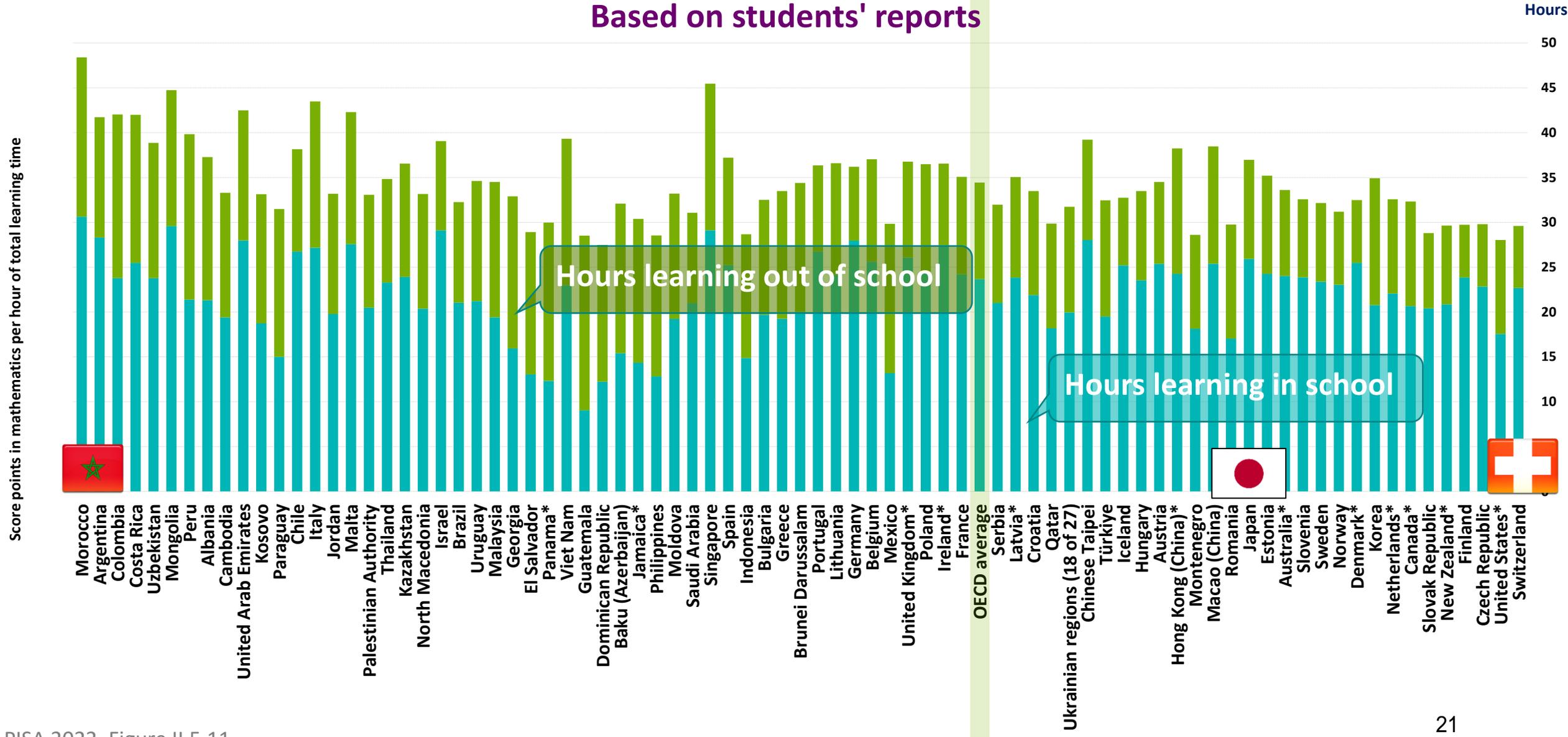
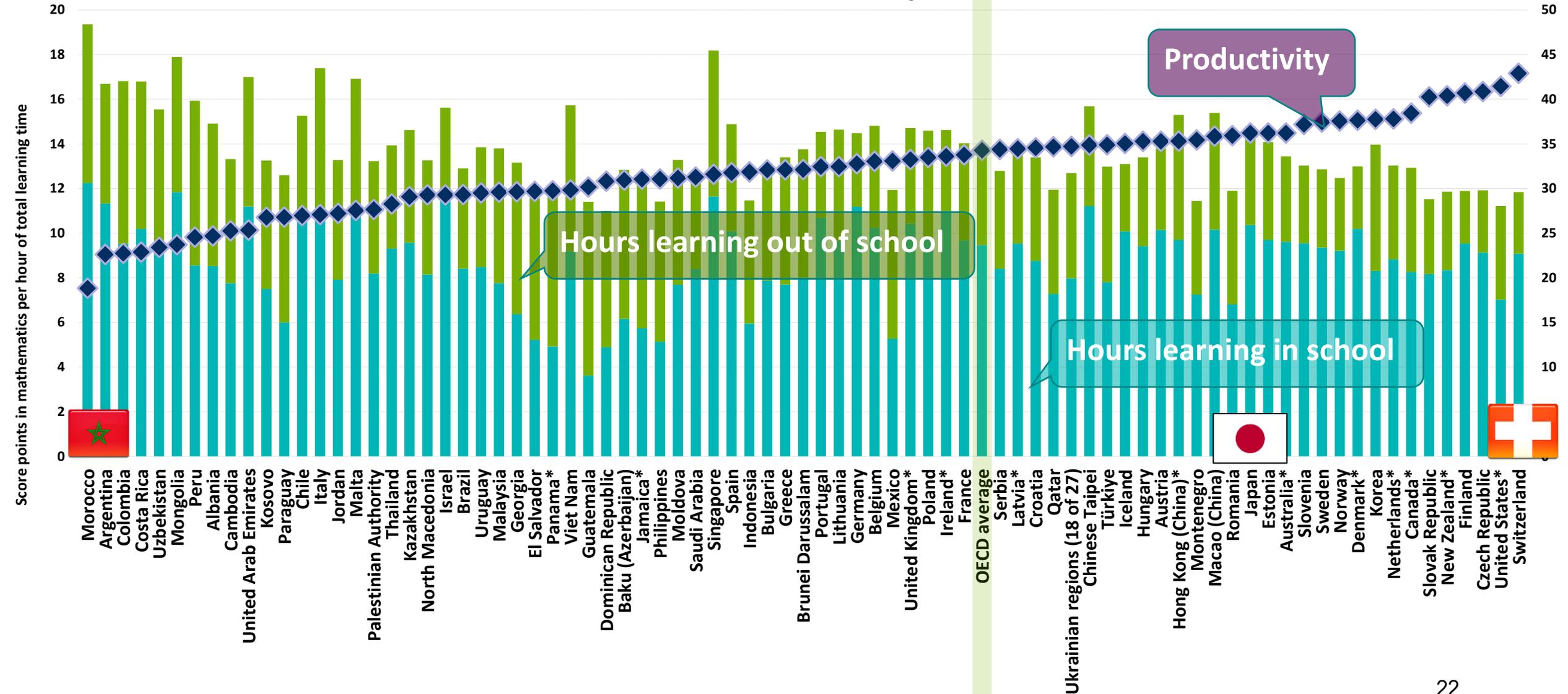




Figure II.5.11

Based on students' reports

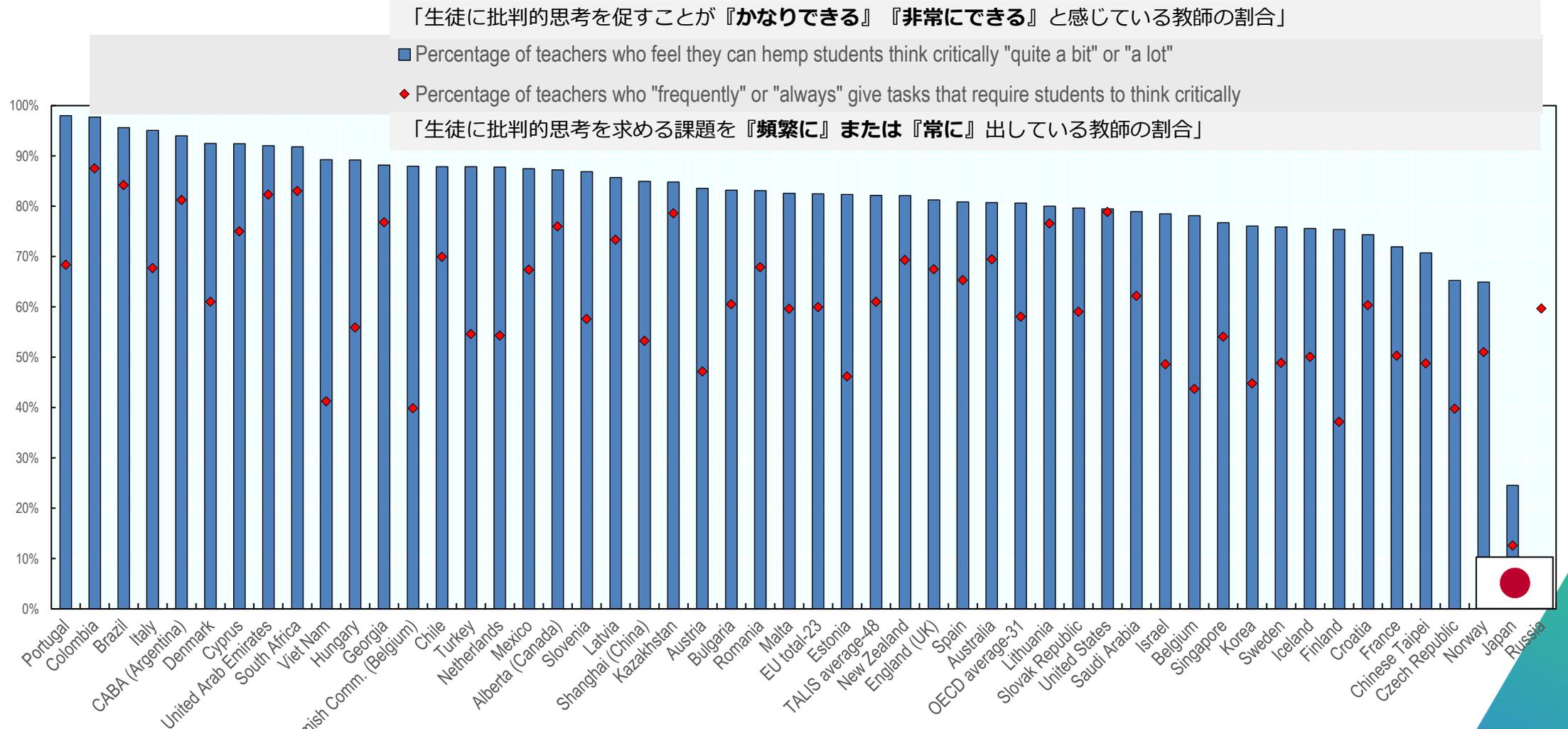
Hours





教え方について—指導要領と連動した教員養成課程、教師のニーズに基づく研修 → 教師エージェンシー（自己効用感等）向上

例) Critical thinking 批判的思考（鵜呑みにしない思考力）を教えるにあたって・・・





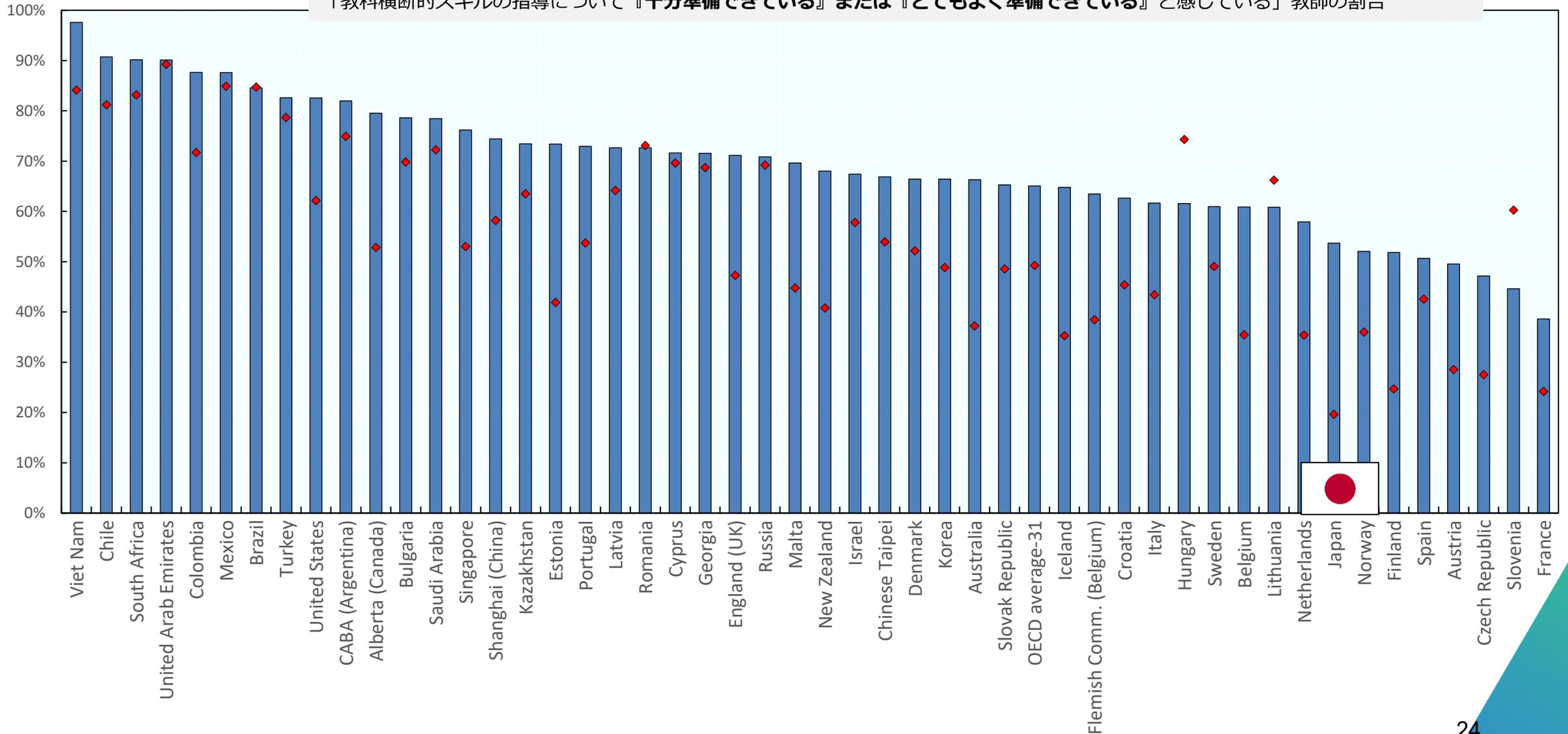
例) Cross-curricular skills 生徒の教科横断的思考やスキルを教員が教えるにあたって・・・

「教科横断的スキルの指導が、**教員養成または正式な研修の一部**として含まれていた」と回答した教師の割合

■ Percentage of teachers from whom teaching cross-curricular skills was included in their formal education or training

◆ Percentage of teachers who felt "well prepared" or "very well prepared" for the teaching of cross-curricular skills

「教科横断的スキルの指導について『十分準備できている』または『とてもよく準備できている』と感じている」教師の割合

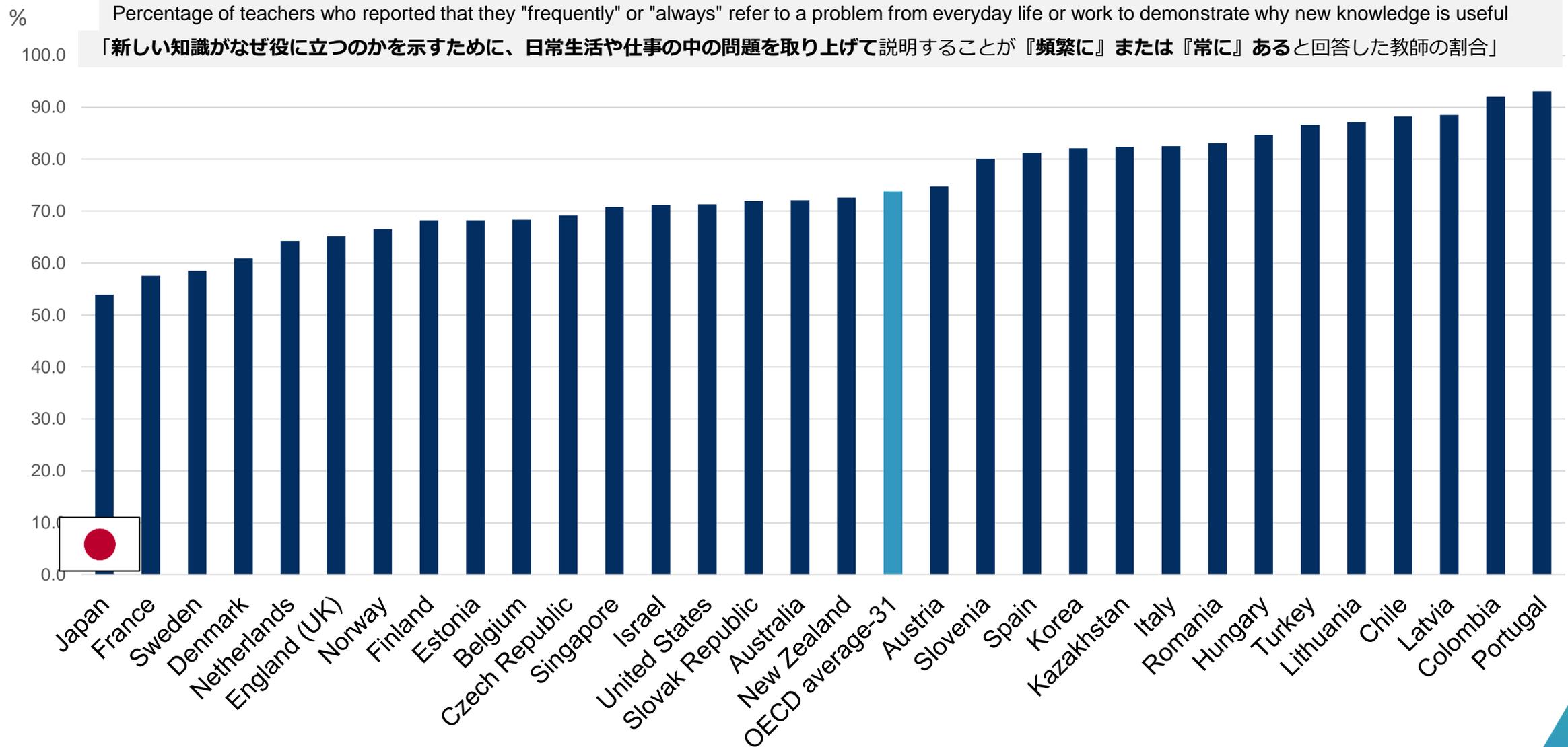




例) Teacher's use of everyday problems in teaching

教科と日常生活の往還（「理論と実践の往還」にも応用）

日本OECD共同研究・教師を目指す学生部会より示唆→「教育実習」の在り方

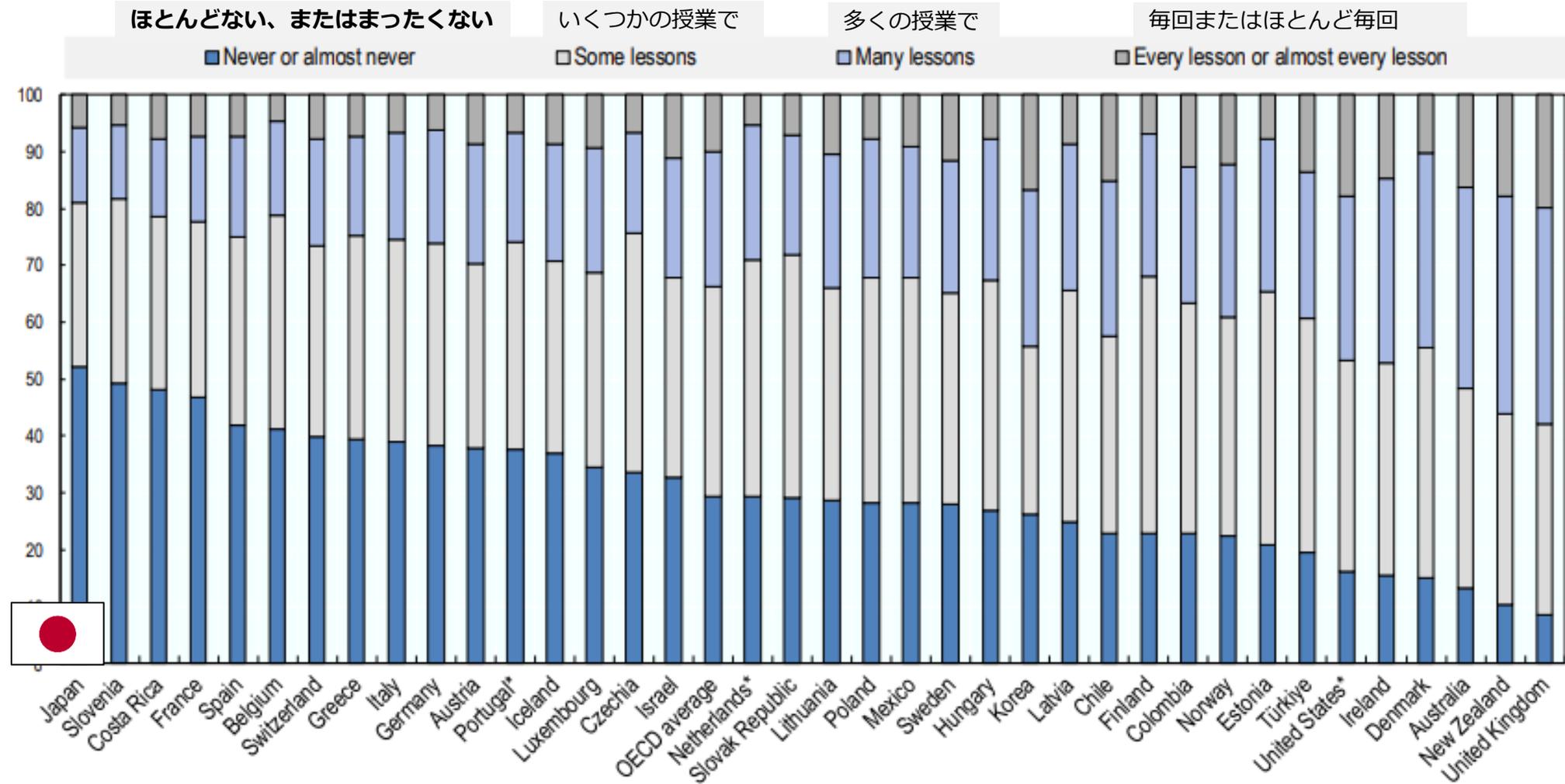




評価について

「この教科で教師が私の強みについてフィードバックをくれる」と回答した生徒の割合

Percentage of students who reported that "teachers give me feedback on my strengths in this subject"



Note: *Data did not meet the PISA technical standards but were accepted as largely comparable.

Source: (OECD, 2019_[38]), *PISA 2018 Results (Volume III): What School Life Means for Students' Lives*, <https://doi.org/10.1787/acd78851-en>.

本日のティーチング・コンパスに関するプレゼン内容

1. E2040参加国によるTC議論の背景
2. 簡単なTC全体像ー6つの主な概念整理
3. **本日の焦点-2つ**
 - ◆ アンカー（錨）
 - ◆ **教師エージェンシー**（個人・**共同**・集合）



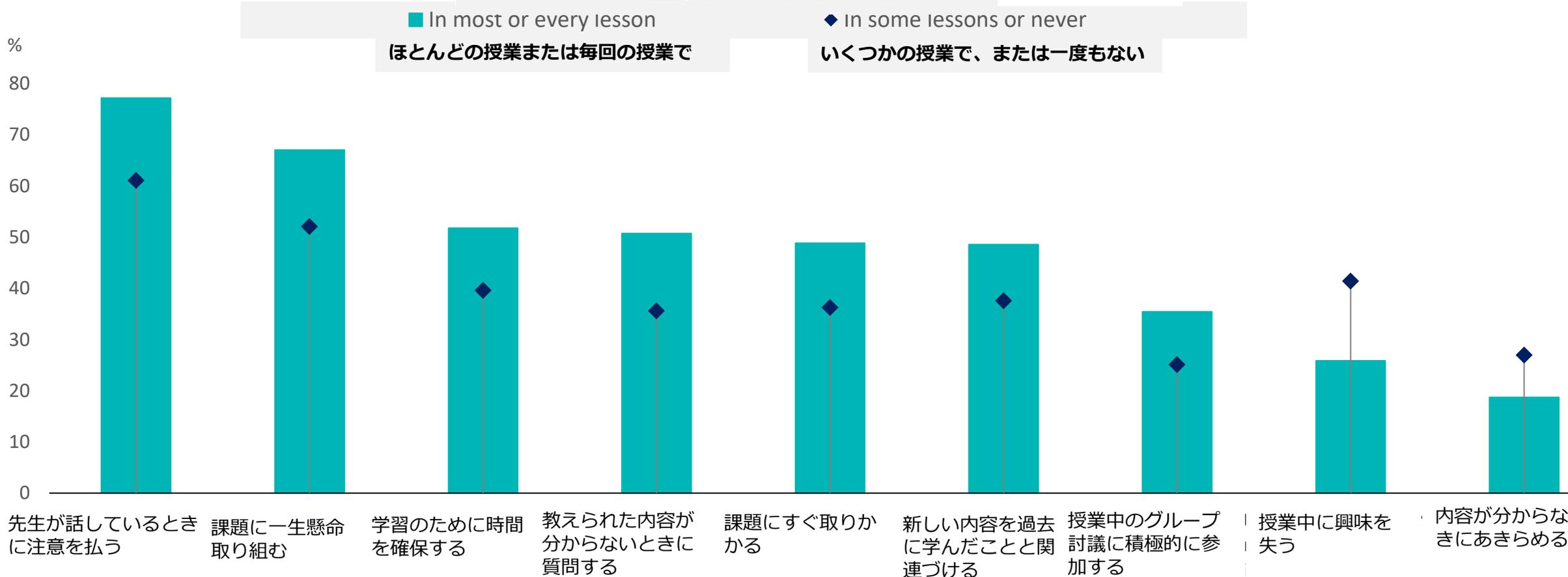
生徒との共同エージェンシー

When teachers help students, the students are more likely to pay attention, put more effort in and ask questions
教師が生徒の学習を支援すると、生徒の学びに向かう態度が向上
(例、先生の話に注意を払う、より努力する、わからない時に質問をする等)

Percentage of students reporting they do the following at least more than half of the time during their school year when their teachers help them with their learning; OECD average

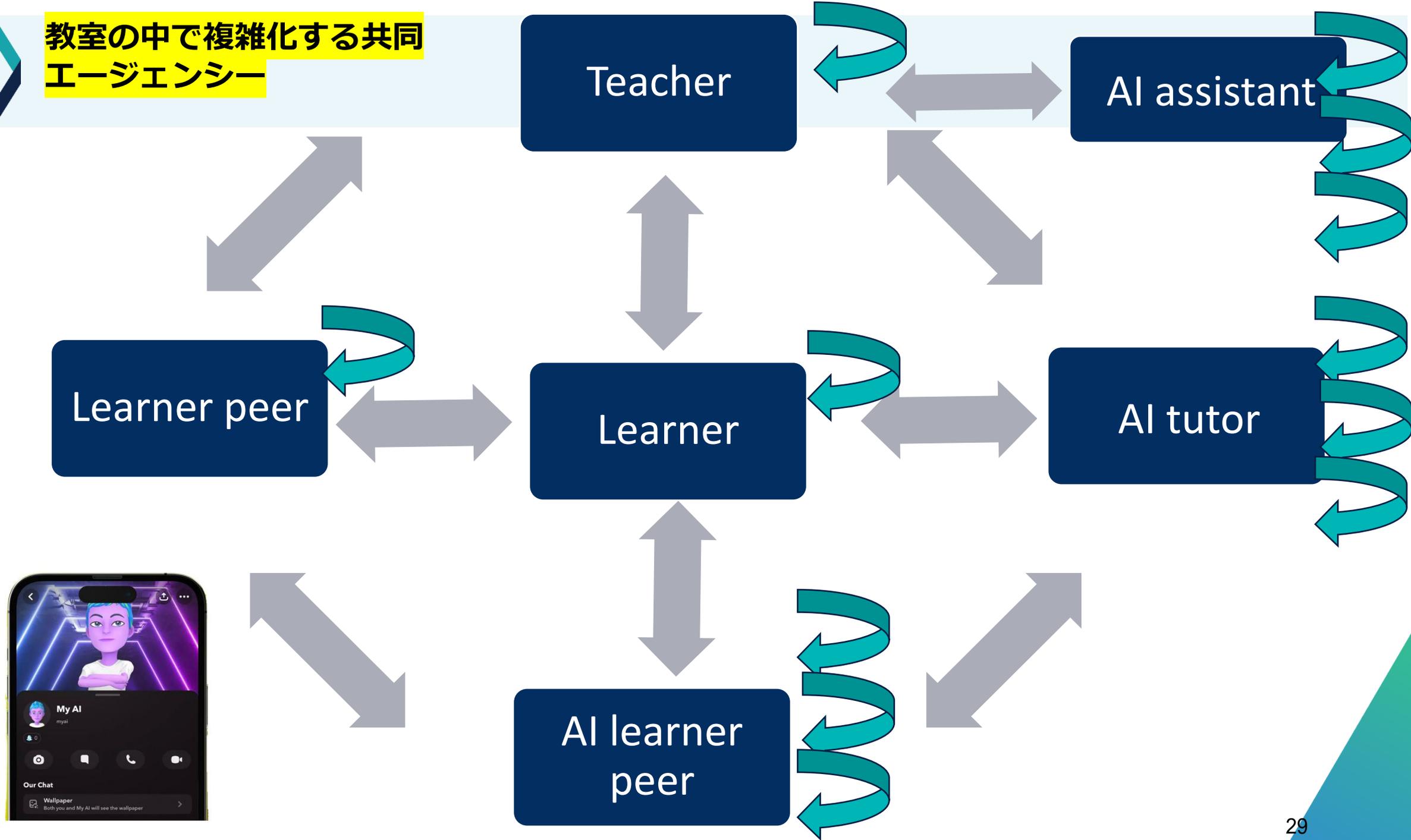
「教師が学習を支援してくれるときに、年間を通じて少なくとも半分以上の時間で以下のことを実行している」と回答した生徒の割合 (OECD平均)

教師は生徒の学びを支援





教室の中で複雑化する共同
エージェント





**E2040 : 人間ならではの教師エージェントとAIエージェントの共創の在り方
(二項対立を越え、補完的な役割分担などAI専門家と議論中)**

観点	人間の教師 (Human Intelligence)	AIエージェント (Artificial Intelligence)
専門性と倫理	内省的・価値に根ざし、倫理的責任を持つ	タスク志向・自己認識と道徳的判断を持たない
生徒との関係性	本物の対話、感情的つながり、メンタリング	構造化された支援、定型的なフィードバック
知識の扱い方	ゆっくり・深く考える。 身体知・経験に基づく	高速・一貫性あり。 膨大な知識に即時アクセス
創造性と共感	直感・ひらめき・本物の共感	パターン生成・模倣的共感
共創のあり方 人間×AIの補完関係	人間性が求められるタスクに集中し、AIは定型タスクを担当	
社会的文脈	AIは文化的・認知的技術 教育は「AIと共に生きる力」の育成へ	

教師自身が教師のためのAIツールをデザインー新しい研修のカタチ (カリキュラム・サポートツール国際共同開発パイロット実施中)

Ask questions about teachers' questions,
decisions, reasoning processes

国・州カリキュ
ラム策定者作
教科専門家

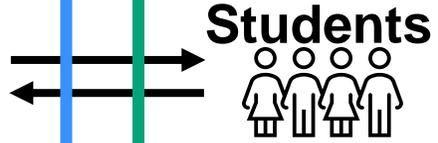


Ask questions
about curriculum



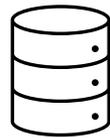
校長・副校長

教師



AIカリキュラム・コンシェルジュ

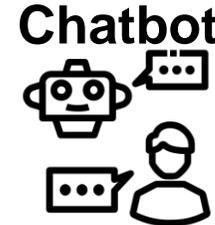
国・州カリキュラム



(カリキュラム・ガイドライン, 教科書?)

Ask questions
about national
curriculum

Ask for evaluation
on their lesson
plans



アイデア壁打ちAI

フィードバックAI

授業案・単元計画

(学校カリキュラム・年間計画表)



モニタリングAI

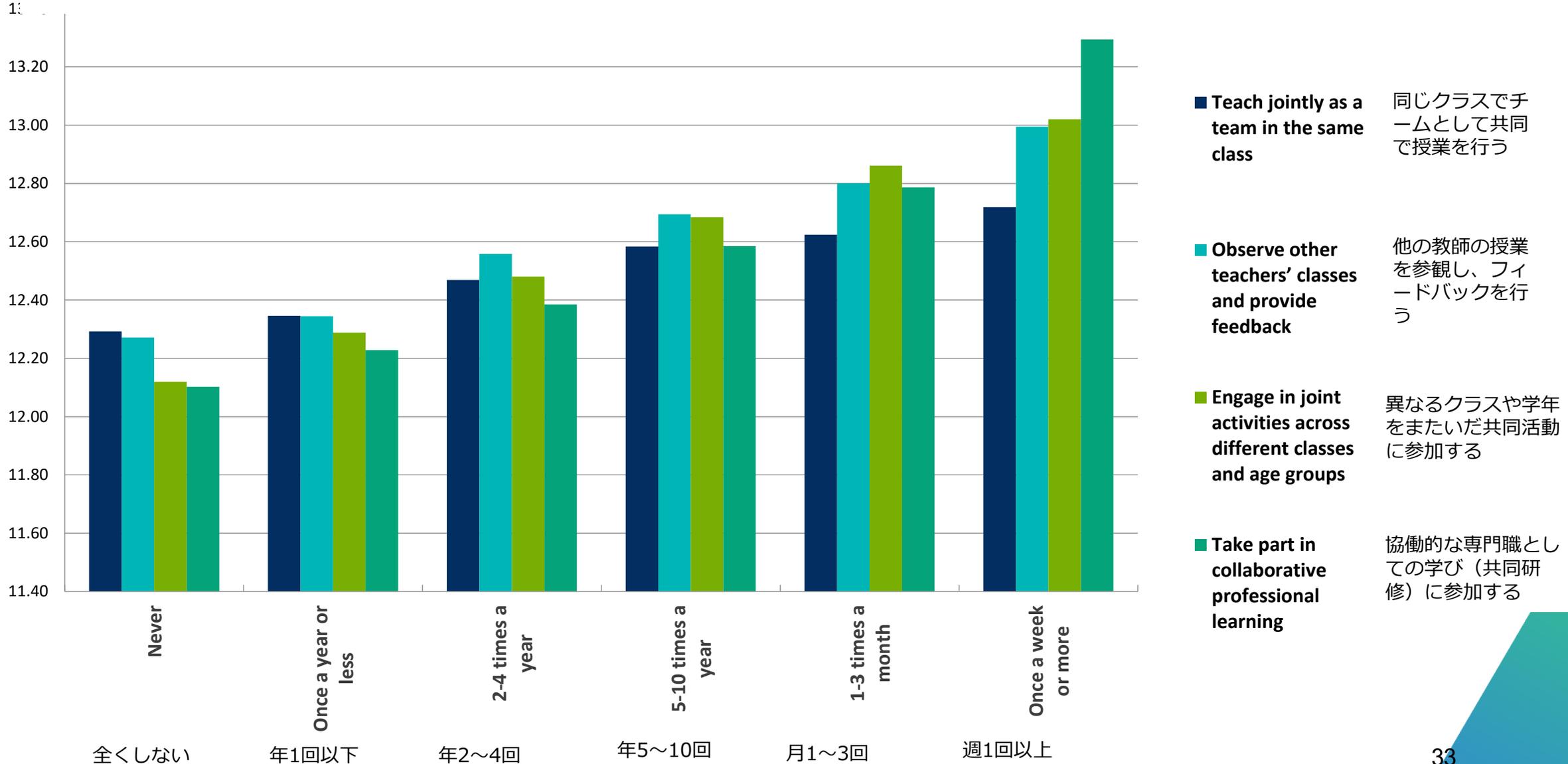
本日のティーチング・コンパスに関するプレゼン内容

1. E2040参加国によるTC議論の背景
2. 簡単なTC全体像ー6つの主な概念整理
3. **本日の焦点-2つ**
 - ◆ アンカー（錨）
 - ◆ **教師エージェンシー（個人・共同・集合）**

教師の集団エージェンシー

一週1回以上協働している教師は、最も高い自己効力感を示している 示唆→ 教師のエージェンシー（主体性）や専門性の向上には、教師も、個別最適な学びだけでなく、協働を通じた相互学習が不可欠。集団的エージェンシーを高めるためには、学校文化としての「協働の習慣化」が重要。

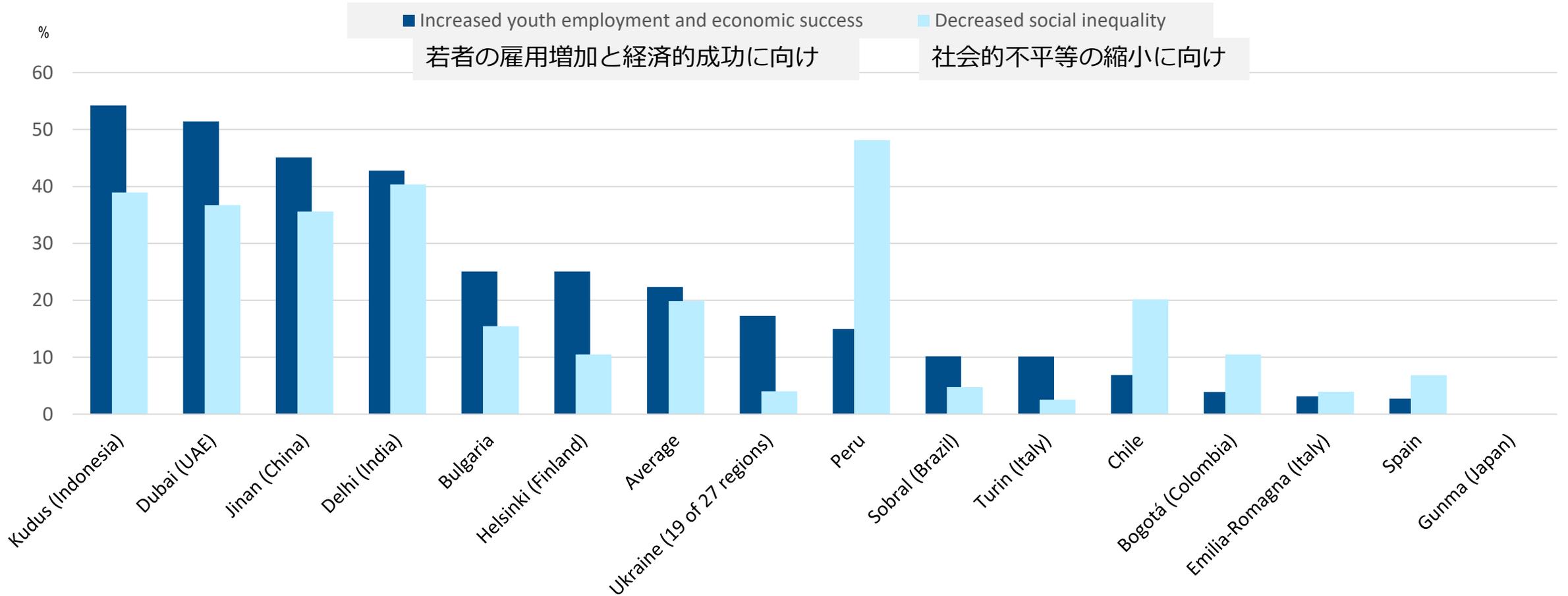
教師の自己効力感レベル (Teacher self-efficacy)





OECD社会的・情動的スキルプロジェクト

社会的・情動的スキルを重要と「**共通の意識 (shared mindset)**」を持つ学校に通う生徒は、多くの参加地域で、半数未満である



Percentage of 15-year-old students in schools where all teachers and principal agree social and emotional skills impact outcomes
すべての教師および校長が「社会的・情動的スキルが成果に影響を与える」と認識している学校に通う15歳の生徒の割合

Thank you

